

還暦を機に愛車で「全国作曲の旅」

下北半島

【詞・曲】吉川団十郎

1. イカ釣りの船が行く 北のさいはて
マダロ船が行く 北のさいはて
大間崎灯台 夕焼けの 空見れば
ゴンベエ(カモメ)が歌う
下北下北美しや 下北下北たくましましや
2. コバルトの海の色
白い岩肌の 仏が浦よ 見上げれば
この世のものかと 驚いて
羅漢の姿 下北下北たくましましや
3. 北風がヒュルヒュル
鳴くはもがり笛 誰を呼ぶのか
尻屋崎灯台 けなげさが 胸を打つ
あの寒立馬 下北下北たくましましや

下北の思ひ出歌に

吉川さん(宮城)CD・DVD製作

吉川さんは宮城県最
市生まれ。1974年、
75年のヤマハポピュラ



吉川団十郎さん

ソングコンテスト全国大
会連続入賞。翌76年に
28歳でデビューし、「あ
あ宮城県」をヒットさせ
たが、1年で芸能界を引
退した。現在は同県村田
町で陶芸家、水墨画家と
して活躍する傍ら、ラジ
オのパーソナリティーも

務めている。
還暦という人生の節目
を迎えた2008年に
「コンサートで全国を飛
び回った青春時代を思い
出し、自分にしかできな
いことをしよう」と一念
発起。沖縄を皮切りに北
海道まで歌を作りながら

「観光PRにぜひ使って」



「下北半島」を収録したCDとDVD

旅をした。
同年7月末に愛車を駆
って本県を訪れ、作った
歌が「下北半島」。1番
に大間崎、2番は仏ヶ浦、
3番は尻屋崎...とそれぞ
れの風景と旅情を織り込
み、「♪下北 下北 美し
や」「♪下北 下北 た
くましましや」と明るく、力
強いサビで締めくくる。

客の反応上々

自ら歌に振り付けして
登場する映像も撮影し
た。「下北は遠いなあと
いう印象がありました。
でも、訪れてびっくり。
仏ヶ浦のように中国の観
光地に匹敵する風景があ
る。親友もできたし、得
るものが多い旅でした」
10、11月にも下北を訪
れ、むつ市のコミュニテ
ィFM放送局「エフエ
ムつ」の番組やカラオ
ケ大会にもゲスト出演。

を手に市内の Snackbar で
飛び込みのキャンペーン
も行った。「下北を題材
にした歌はみな暗い印象
だけなのにこの歌は明るく、
サビのところで合唱でき
る」「歌に合わせたDVD
の映像も面白い」と、
客の反応は上々で手応え
を感じたという。

再びヒットを

「音楽家として一番の
喜びは作品が歌い継がれ
ること」とい
う吉川さん。
「34年前のヒ
ット曲をまぐれと思われ
たくない。歌をヒットと
せてお世話になった人に
恩返ししたい」という思
いもある。

通信カラオケに「下北
半島」を入れてもらっ
たのが当面の目標。吉川さん
は下北弁も交え、呼び掛
ける。「下北をPRする
ためさまざまな活用できる
と思う。コマーシャルに
もどんどん使ってほし
い。地元イベントにも
ぜひ呼んでください(くだ
さい)」

「初老の雄叫び」と題
したCDは「下北半島」
など6曲入り(カラオケ
付き)。「人生ラストパ
ート」と題したDVDは
4曲入り(同)で各千円。
問い合わせは、郵便番
号989-1302 宮
城県村田町小泉南小谷2
09の1 吉川団十郎さ
ん(電話・ファクス02
2485030)へ。